



郵便ポストのある学校

とても嬉しいお知らせがあります。郡山小学校の校門前（校庭西側）に、郵便ポストの設置が決まりました。来週、11月4日（金）に工事が行われ、その日のうちに設置が完了します。

今年の7月に、新仙台郵便局から学校に「小学校の校門前にポストを設置したい」という相談がありました。郡山小学校周辺には郵便ポストが無く、これまで、地域住民の皆様から個別に、郵便局に対してポストの設置を求める声が多数寄せられていたそうです。さらに、地域住民を代表する方々による陳情や政治的な努力もあって、ようやく郵便局として設置の決断まで漕ぎ着けたのだと伺いました。そして、郵便局が地域住民の声を受けて最適な場所として選んだのが、郡山小学校の西門前だったのです。

私は、地域住民にとっても、子供たちにとっても素晴らしくありがたい話だと思い、是非実現させたいと思いましたが、市立学校の敷地内であり独断で決められることではありません。そこで、学校施設を管理する仙台市教育委員会学校施設課に連絡して、私の気持ちも伝えた上で対応について伺ったところ、教育委員会からは、「地域住民のためにもなることであり、施設面や安全面に問題がなければ校長の判断に任せる。」という回答をいただくことができました。それを受けて早速、郵便局から教育委員会に正式に申請し、諸々の手続きを経て、設置が決定したのです。

平成の初め頃までは、遠方の友人や親戚、お世話になった方などと連絡を取りたいと思ったり、相手に感謝の気持ちを伝えたいと思ったときなどには、まだ、手紙を書くことが一般的でした。電話をかけることもできましたが、文章で丁寧に伝えようとすれば、手紙（葉書）という手段が唯一無二のものでした。

個人同士だけでなく、社会的な役割としても、投書、各種の申し込みや応募、請求や通知など、郵便は社会生活を支える大きな役割を担ってきました。

※裏面に続く

..... 切り取り線

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

2022年10月28日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp（校長直通）

時代は変わり、「インターネット」が発達した現代においては、「メール」「LINE」「facebook」「Twitter」などのSNS（Social networking service：Web上で社会的ネットワークを構築可能にするサービス）により、前述のような郵便が担ってきた社会的な役割や個人的な相互交流が、より迅速で効率的なものになりました。パソコンで電子メールを送るのは簡単で、長文も素早く打てますし、コピー&ペーストで文章の修正や追加も手軽です。LINEなど、他のSNSにおいても同様です。しかし、便利さや気軽さからメッセージに重みを感じられなくなったり、直筆の手紙と比較して、温かみがないと感じることもあります。以前の校長室だより（2022年2月10日発行「駟も舌に及ばず」）でも述べたように、よく言葉や文章を吟味することなく「軽々しく書き込むことによる弊害」も問題になっています。

インターネットやSNSは、もはや私たちの生活には欠かせないものとなり、今後さらに進化していくことでしょう。もう後戻りはできませんし、これからは、そのような便利なツールを使いこなして相互交流や情報共有を進めながら、社会活動をさらに発展させていかなければなりません。一方で、そんな時代の中でも、「手紙」の価値は永遠に生き続けるのではないのでしょうか。

現在でも、郵便に限らず、その人の肉筆で心を込めて綴った文章を相手に渡すことは、社会生活を営む中で人間関係を支える重要な役割を果たしています。文通という形での相互交流や、恋文（ラブレター）、お礼やお詫びの手紙など、特に心と心のやりとりにおいては、今でも手書きの手紙に勝るものはありません。手書きの手紙に込められた心、ぬくもりは、どんなに時代が変わっても、色あせることのない普遍的な価値を持っていると思います。

皆さん。手書きで手紙を書いてみましょう。離れて暮らす親戚や家族へ。友人へ。お世話になったあの方へ。内容は些細なことでも、短くても、心が、ぬくもりが伝わることでしょう。相手のことを想像しながら時間をかけてじっくりと言葉をつむぎ、さらに肉筆によって、言葉に書く人の心が乗り移ります。

出したい手紙があるときは、これからは登校する子供たちに投函を依頼してください。お遣いを頼まれた子供たちは、きっと嬉しいと思いますし、子供たち自身が、遠くにいる親戚や友達に手紙を書くきっかけにもなるでしょう。

校門前のポストは、これから、郡山小学校のシンボルの一つとして親しまれていくことでしょう。